

新型コロナウイルス感染症拡大による障害者の就業及び生活への影響

新型コロナウイルス感染症拡大による職業生活への影響に関する自由記述のカテゴリー別の回答例です。

【日常生活や感染対策における経験について】

ア 「感染防止・感染対策に関すること」についての自由記述の回答例

回答者の障害種類	回答時の年齢	回答内容
視覚障害	52歳	三密回避のため、利用者の個別対応が原則となり、担当業務が過重となっている。
視覚障害	62歳	外出時のマスク着用で単独歩行に困難をきたすことがある。
聴覚障害	53歳	仕事の方は変化なかったが、家族がPCR検査を受けるために職場を休んだり、結果が出るまで出勤できなかったりしたこともありました。
聴覚障害	53歳	病院へ行く前に電話して行くのがハードル高い。
聴覚障害	64歳	感染対策防止のため、1人1人のデスクが紙製パーテーションパネルで囲まれ、周囲が見えないノゾリアとなり、不安定な情報保障に苦労した。
肢体不自由	52歳	身体の関係で予防注射を医師から拒まれてしまい、感染が怖いがどうにもならず仕事は出社型のため、心配な毎日です。
内部障害	53歳	2020年、コロナとは別に母が特別養護老人ホームに入所し、10月上旬まで面会できましたが、その後から現在まで面会できない状況で、毎週面会していたので、つらいです。
知的障害	34歳	農園のハウス内での仕事ですが、マスクを付けての作業に当初は苦しそうでしたが、慣れた様子です。(家族による代筆)
知的障害	48歳	手あらい、うがいはもちろん一日中マスクをはずせない中、クレーンもない中で、夜7時まで仕事をしています。本人は、「身体がつかれているのでワクチン打ちたくない」と言っています。(家族による代筆)
精神障害	52歳	コロナ前は、気にしていなかった基本的な生活(うがい、手洗い、マスク着用、外出、外食)を気にするようになった。すごく敏感になり神経質に生活するようになった。

イ 「日常生活への影響」についての自由記述の回答例

回答者の障害種類	回答時の年齢	回答内容
視覚障害	40歳	仕事柄基礎疾患を有する後期高齢者と接することが多いため、買い物以外の外出をほとんどしなくなった。ここ2年半は旅行や実家への帰省、外食は全くしていない。
視覚障害	44歳	人との関わりが減った代わりに、自分の時間が増え、いつかやりたいと思っていたことに取り組めるようになった。
視覚障害	46歳	子供の学級閉鎖や、学校行事の変更(日程)があった。
視覚障害	50歳	(こちらから遠慮する形で)買い物の際の店員さんの援助を受けづらくなった。買い物の大半をネットショッピングに切り替えた。
視覚障害	57歳	友人関係:互いに時々あって励ましあっていたが、会うことができずつらい。 日常:最低限の外出を心掛けるため、これまで以上に運動不足になった。
聴覚障害	53歳	家族がPCR検査を受けるために職場を休んだり、結果が出るまで出勤できなかったこともありましたが、幸いにも感染はなかったので安心しています。娘は卒業(高校)したら県外へ行くことになり、生活が夫婦二人だけになり、どのような変化するか、不安があります。お互いに聴こえないので連絡がスムーズにできるか不安です。娘にたよってばかりでは良くないので、自分のできることははじめてみようと思います。
聴覚障害	57歳	私生活でも、外出、外食の機会がめっきり減った。障害者団体活動でもズーム会ギ等、新生活様式をとり入れたものが増えた。

聴覚障害	58 歳	友人のつきあいが減ったが、オンライン会話、テレビ電話がふえた。妻の会話がふえた。家のそじが多くなった。
聴覚障害	60 歳	集まることができなくなった。特に、手話で話せる場が、なくなった。手話サークルや行事の中止によって。
肢体不自由	44 歳	物価上昇等、家計の消費がかなり増えた。高校生の子供への学費も不安がある。自身も、ワクチンを受けて不安がかなりあります。
肢体不自由	51 歳	家族が新型コロナに感染し濃厚接触者になった。買い物に行けない物資がなかなか届かないし食料に苦労した。インターネットでインスタント食品等取り寄せて少しずつ食べた。
肢体不自由	52 歳	買い物も週1回とし、1週間分の食糧をまとめ買っていますが、日持ちする食べ物となると、パスタ、素麺等の乾麺が中心となり、栄養のバランスが崩れています。早く元の世の中へ戻って欲しいと思います。
肢体不自由	55 歳	車椅子バスケット大会中止。旅行(国内・海外)中止。別居家族等と疎遠。
肢体不自由	61 歳	買い物に行くのを控え宅配サービスを利用している。自宅にいる時間が長いので運動不足で太ってしまった。人と会えない時間が増えたことで気分が落ち込むことが多くなった。7月にワクチン接種を終えて前向きになった。
内部障害	39 歳	勤務先が病院なので生活がより慎重になり、楽しみの県外旅行や友人との食事は皆無になった。仕事内容は大きく変わらないがプライベートとのバランスが崩れている。
内部障害	42 歳	保育園がコロナ関連で休園になり、共働きなので片方が休んで家で子供と過ごすことがあった。
内部障害	58 歳	家族がテレワークになり、食事を作る回数が増えた。私自身に基礎疾患があるため、友人、知人と会う事、又、家族とも出掛ける事が減り、とにかくストレスがたまる。
内部障害	61 歳	コロナのため、友人達との食事会ができなくなったり旅行にも行けなくなりました。手の手術もしたため右手が自由に動かなくなりました。この先少し不安です。
内部障害	65 歳	密を避けるためにマイカーの移動が多くなったので出費がかさんだ。
知的障害	36 歳	遊びに行く場所を選んでいる。コロナの影響を考えて、行きたいけれど、我慢している。旅行も、行きたいけれど、我慢している。
知的障害	37 歳	ゲームしにいけますが、人がおおいときは、いってる時間をかながえてしまう。
知的障害	53 歳	父母が老人ホーム型のマンションにいますがコロナで2年ぐらいあってません。友達と食事に行けなくなった。
精神障害	35 歳	友人・知人に会う機会が減り、文通はSNSやZoomの利用が中心となった。
精神障害	50 歳	仕事内容や家庭の問題 妻が家に1人で過ごせなくなった。
精神障害	54 歳	B型へ通所できない月があったりリズムがおかしくなり体調も悪くなった。

【体調や精神面への影響について】

ア 「体調や精神面への影響」についての自由記述の回答例

回答者の障害種類	回答時の年齢	回答内容
視覚障害	44 歳	何かと不安で心身が不調であると感じる。
視覚障害	60 歳	健康状態は、出社以外、外出しなくなったため運動不足。毎日の過ごし方は、きままな旅(海外・国内)が思うようにできなくなり、ストレス解消できず消化不良気味。
視覚障害	61 歳	会社の出勤日が減ったので体がなまってしょうがない。
視覚障害	67 歳	仕事以外の外出が少なくなり体力が落ちた。
聴覚障害	52 歳	夫の収入が減り、他県へ引っ越しました。ちょうど更年期の時期でもあり、体調が良くない日が多くなったりもしました。
聴覚障害	54 歳	テレワークがふえた。そのせいで不安症になりました。
肢体不自由	39 歳	外出をしなくなり、身体機能の低下が早くなったような気がする。

肢体不自由	44 歳	テレワークにはなったが、物価上昇等、家計の消費がかなり増えた。子ども(高校生)への学費も不安がある 自身もワクチンを受けて、不安がかなりあります(障がい、疾病)。
肢体不自由	47 歳	今まではよく出掛けていましたが今はコロナに気をつける為ほとんど出掛けなくなりました。ストレスが溜まりづらいので早く前の生活ができる様になってほしいです。
肢体不自由	49 歳	リハビリの通院に影響があった。現在も体調は完全には戻っておらず、少しずつ治療に努めている。
肢体不自由	52 歳	リハビリを打ち切られた。
肢体不自由	53 歳	運動不足で太った。筋力が落ちた
肢体不自由	61 歳	自宅にいる時間が長いので運動不足で太ってしまった。人と会えない時間が増えたことで気分が落ち込むことが多くなった。
内部障害	53 歳	透析で週3日通院しているが、集団(同じ部屋で治療)のため、すごく気を使う様になって、それがストレスになっている。
内部障害	58 歳	私自身に基礎疾患があるため、友人、知人と会う事、又、家族とも出掛ける事が減り、とにかくストレスがたまる。ワクチンは2回済んでいても、長引くコロナウイルスの感染力の強さに不安はぬぐえない。
知的障害	32 歳	コロナの感染におびえながらの生活で、仕事も外出も大変不自由でした。以前は、自由に休日出かけることがストレス発散だったのに、それができなくなり気持ちのやり場がありません。
知的障害	34 歳	前の仕事でバファハラを付けて、適応障害になって、しんどかった。だけど、前の仕事を辞めて、正解だった。
知的障害	43 歳	自転車での長旅のついで温泉、銭湯によれなくなったのが、さびしいし、限られた感じになってしまったこと。少しはお金回ってほしいです。
知的障害	48 歳	仕事の内容も時間も短くなってやる気がおきない。
精神障害	42 歳	在宅勤務の導入、業務内容変更による体調悪化からの休職→退職。
精神障害	52 歳	コロナ前は気にしていなかった、基本的な生活(うがい、手洗い、マスク着用、外出、外食)を気にするようになった。すごく、敏感になり神経質に生活するようになった。
精神障害	53 歳	前職(R4年3月31日退職)では、完全リモートワークになり、気軽に質問もできず独りで黙々と仕事をすることに、不安を覚えた。そしてうつになった。
精神障害	54 歳	在宅勤務が発生し、出社勤務時の労働負担、それに伴うストレスが増大し、うつ病の再発治療をはじめの事になった。家事で買い物の負担が大きくなった。(高齢の親に外出させたくないため)必要以外の外出が全くなり、ストレス発散の外出ができなくなった。
精神障害	54 歳	B型へ通所できない月があったりしてリズムがおかしくなり体調も悪くなった。
精神障害	56 歳	仕事に関しては変化無かったが、自分の障害の病気が悪化して、働ける状態ではなくなり、5ヶ月間休職して、自己都合で辞めました。その発端が、コロナウイルスの日々の過ごし方の変化に対応できないことが原因かと思われれます。

イ 「コミュニケーションへの影響」についての自由記述の回答例

回答者の障害種類	回答時の年齢	回答内容
視覚障害	58 歳	オンラインによる業務対応、不用意なコロナ感染を理由とした仕事の削除や軽減、人間関係の薄弱化(障害のある者にとっての最大の危機)
視覚障害	60 歳	人とのコミュニケーションの機会が大幅に減った。好きな旅行、外食などができなくなった。
聴覚障害	36 歳	感染防止のため、会議では皆がマスクするようになり、参加しにくくなった。UDトークアプリを使用して参加するが誤字が多い。ネットに接続できなければ使えない。
聴覚障害	39 歳	毎日マスク生活で、会話する時、普通のマスクだと読み取れなく、透明マスクにかえてくれて、会話が読み取れるようになりました。(仕事)

聴覚障害	39 歳	マスクを着用している人から、話しかけられても何を言っているのかわかりません。私は聴力が厳しい為口形をみないと、言葉を聴きとることはできません。しかし、相手にマスクをとってもらい事もコロナ禍無理なのでコミュニケーションがとりにくい状況がずっと続いています。
聴覚障害	40 歳	聴覚障害により情報アクセスおよび保障が必要な人への迅速な支援を意識するようになりました。
聴覚障害	40 歳	マスクで口元(の動き)が見えず、勘だけで答えるのもさらに難しくなりました。誤解や無用のトラブルを起こさないように他人を避けるようになりました。スマホのアプリ「拡大メモ」を使う機会が増えました。
聴覚障害	41 歳	陽性になった時の休み日数などコロコロ変わる。→会社それぞれだと思うが、今の会社での決まりが欲しいと言っても「ない」と言われる。つまり上司で決めていると思われる。分社で、別のところに勤めている人に聞くと違っていたりする(お休み日数とか)連絡での返事対応があまり良くない。前の上司「了解しました」と来て、ほっとしてゆっくり休める/今の上司「熱は？」に返事してその後はなし。いつメールがくるのか不安になる。せめて「了解しました」くらい欲しい。
聴覚障害	42 歳	マスク着用中心となったため、コミュニケーションが厳しくなった。(口形や表情を読み取りにくくなったため) ※筆談をお願いしてきているが、なかなかしてくれない。マスク越しの会話が多数。
聴覚障害	44 歳	子どもの学校の懇談会だったり、授業参観で同級生のママさんに会ってもマスク姿なので、顔が覚えにくい。また、口元が見えない為、話していることがわからずコロナ前と比べると良好なママ友関係を構築することができなかった。
聴覚障害	46 歳	リモートミーティングでは口元見えるようにしてもらっている。又は文字が出るようにしてもらっている。
聴覚障害	55 歳	マスク着用によりコミュニケーションが難しくなった。
聴覚障害	59 歳	全員マスクで読唇ができなくなった為、ひらき直ってカンタンな手話、身振りも駆使して他の職員も手話を少し使ってくれるようになった。
聴覚障害	59 歳	手話講師をやっております。仕事の量は減らしてないが、中身が変わった。対面講座が困難のため、オンライン講座は切り替えて、慣れなく時間がかかり大変苦労しています。
聴覚障害	62 歳	耳がきこえないので、マスクが必要な社会で口が見えず不便をととも感じます。
聴覚障害	64 歳	感染対策防止のため、1人1人のデスクワークに紙製パーテーションパネルで囲まれ、周囲が見えないバリアになり、不安定な情報保障に苦労した。
聴覚障害	70 歳	マスク着用は口形や表情がわからずとても不便になり生活への支障になっている。

【仕事への影響について】

ア 「労働時間・仕事量・収入等の減少」についての自由記述の回答例

回答者の障害種類	回答時の年齢	回答内容
視覚障害	42 歳	仕事がへり昇給がなくなりボーナスは減った。
視覚障害	43 歳	新型コロナの影響で職場の一時休業、自粛営業の期間があった。
視覚障害	44 歳	収入は、1/3に減り、家族の感染、予防接種後など、休む日も増えた。自分の収入だけで生活は困難になってしまいました。
視覚障害	58 歳	仕事(マッサージ)の患者が減った。友人などとの交流が減った。
視覚障害	67 歳	去年から自宅待機になり、月に一度事務処理に出勤しています。早く仕事がしたいです。
聴覚障害	40 歳	会社が一時閉鎖した。
聴覚障害	47 歳	臨時休業が増えた。賃金が下がった。(職場で)コロナ感染者が出ていた。人員が不足して忙しくなった。
聴覚障害	59 歳	職員として就労継続B型支援事業所で勤務している為、コロナの影響で売り上げが減っていくことで赤字が不安です。内職、弁当作り(注文も少なくなる)。
聴覚障害	64 歳	去年、緊急事態宣言が公表されて1ヶ月休職した。幸い、収入があって良かった。

肢体不自由	53 歳	学校や行政機関からの依頼が多いので、コロナにより依頼が半減した。
肢体不自由	59 歳	新型コロナのために契約満了となった。
肢体不自由	60 歳	親会社の方に中国からの材料が入らなくなったことがあり、仕事ができなくて休みの日が増えた。
内部障害	53 歳	2020年コロナの影響により会社の入荷量が減少し、収入も減りました。
知的障害	34 歳	(緊急事態宣言の)第1回目の時は、給料を補助してもらえた(半月分くらい)。次の(緊急事態宣言の)時は、有休休暇を使われた。
知的障害	39 歳	コロナ(の感染拡大)がひどい時は自宅待機になることもある。
知的障害	41 歳	週2日勤務と週3日勤務が隔週でシフトが組まれている。その日の生産量の変化によって会社からの電話でスタンバイと告げられる事がある。
知的障害	42 歳	老人施設なのでコロナがまん延してくると自宅待機になってしまう。休日の自由な外出ができない。
知的障害	42 歳	結婚式がとりやめになったので仕事の休みが多かった。体がなまるようだった。
知的障害	42 歳	営業が自粛になりました(2020年4月16日から7月16日まで)。勤務時間が短くなりました(1時間)。
知的障害	48 歳	仕事の内容も時間も短くなってやる気がおきない。
知的障害	59 歳	仕事の受注量が減って他の部署に応援に行く人が目立つ様になった(特に最近、週の初めと週末)。
精神障害	42 歳	在宅勤務の導入、業務内容変更による体調悪化からの休職→退職。
精神障害	46 歳	職場全体の仕事量が半導体不足もあり、激減した。
精神障害	54 歳	不安 仕事がなくなっている。
精神障害	54 歳	前職場が営業停止になった。外出禁止になりストレスがたまっている。
精神障害	56 歳	仕事に関しては変化無かったが、自分の障害の病気が悪化して働ける状態ではなくなり、5ヶ月間休職して、自己都合で辞めました。その発端が、コロナウイルスの日々の過ごし方の変化に対応できないことが原因かと思われます。
精神障害	71 歳	働く場が1年以上休みとなった。早く働きたかった。

イ 「労働時間・仕事量等の増加」についての自由記述の回答例

回答者の障害種類	回答時の年齢	回答内容
視覚障害	51 歳	感染対策をしなければいけないので、今までよりも仕事量が増えている(検温や消毒)。
視覚障害	52 歳	施設通所利用の一時停止などで担当する業務が著しく減少した。また、利用再開後は、三密回避のため、利用者の個別対応が原則となり、担当業務が過重となっている。
聴覚障害	38 歳	仕事の量が増えた。
聴覚障害	45 歳	会社にコロナウイルスに感染した職員がいるので休みが多かったから、人が少ないので仕事が大変でした。
聴覚障害	47 歳	コロナ感染者が出ていたため、人員が不足して忙しくなった。
聴覚障害	54 歳	仕事がすごく増えてしまった。
肢体不自由	55 歳	新型コロナウイルスに関係する職場であったため、仕事量が増えた。
知的障害	41 歳	仕事がいそがしくなった。
知的障害	53 歳	居酒屋なので時間短縮になり弁当の数がふえ忙しくなり人がいなくて残業が続く。金曜日の終礼にはコロナについての話がある。グループ活動ができなくなった。
知的障害	62 歳	今までの仕事より、もっと仕事が増えたこと。

ウ 「その他の仕事への影響」についての自由記述の回答例

回答者の障害種類	回答時の年齢	回答内容
視覚障害	41 歳	リモート導入により、パソコンなどの ICT 機器の設定や操作について新たに覚えなければならないことが増えた。
視覚障害	42 歳	短期間だが在宅勤務を経験した。オンラインでの会議や研修の機会が増え、移動の負担がなくなり、研修に参加することが増えたかもしれない。行事などが中止になることが増え、再開することが億劫になった。
視覚障害	57 歳	去年は学校(職場)も5月まで休校になり、転職直後で仕事にならなかった。今年度、学校(職場)はあるので、みかけは以前と同じかも知れないが、消毒作業などコロナ対策に時間を取られる。給食も 20 分くらいで食べる必要があつて慌ただしい。しかし今の感染拡大の中、電車に乗り通勤することにも大きな不安を感じている。
視覚障害	58 歳	施術ができなくなり、仕事の内容が社員向けの情報発信となり、慣れない文書作りに苦労している。
視覚障害	63 歳	4月に転職したが仕事の内容が大きく変わったのは当たり前であるが、その仕事も昨年までと大きく異なり人との交流を図ること(例えば講演会、研修会など)がほとんど行えないので大変困っている。
聴覚障害	40 歳	面談が基本とされている仕事ですので、感染者数の状況を見ながら、訪問や同行は控えることが多くなりました。
聴覚障害	42 歳	働き方改革が推進した。IT 化が進んだ。
聴覚障害	42 歳	流行したばかりの時は緊急事態宣言で仕事が休み(学校が休みだったためになくなった)、今は対面での仕事が増えたが、まだまだオンラインでの教育となり、そのオンラインが大変。生活もままにならない。
聴覚障害	48 歳	2020 年は1~2ヶ月ほど在宅勤務(テレワーク)になり、その後は職場で、(コロナ感染等で)人数が足りなくなると、急に別の場所へ応援にいらしたこともあった。
聴覚障害	48 歳	在宅勤務が増えた。対面で会う機会が減り、特に年配者は疎遠になる人も出てきた。
聴覚障害	57 歳	定年が延びるようで、60 歳で辞めた場合、定年退職と同じ扱いにされることができるかどうか心配。
聴覚障害	59 歳	手話講師をやっております。仕事の量を減らしてないが、中身が変わった。対面講座が困難のため、オンライン講座は切り替えて、慣れなく時間がかかり大変苦労しています。それと高齢の両親の世話をしなければならないので、体力がなく不安です。仕事を辞めたいが、なかなか後継者がなくて困っている。
聴覚障害	62 歳	昨年4月からずっとテレワーク生活(職員の 70%がテレワーク)。昨年 12 月から週1回の会社出勤になった。仕事もシフト勤務になった。職場も1人1人ずつパーテーションが設置されている。
肢体不自由	37 歳	在宅勤務が推奨された。働き方改革を全社で推奨している。
肢体不自由	39 歳	在宅ワークが許可された。働き方がフレキシブルになった。
肢体不自由	59 歳	在宅勤務せざるをえないことが増えた。外部との会話もズーム等(オンライン)により開催されることが主になった。その反面、最近は街中の人出が多くなり、会議も実際に集まってやるものが増えつつあり、感染拡大が危惧される。
肢体不自由	59 歳	会社全体として時短勤務があり、緊急事態宣言が出た場合、1時間早く退社するため、仕事量は減らないのに勤務時間が短くなるので、時間中が非常に忙しい。
内部障害	59 歳	今年定年で新しい仕事を見つけなければならないが、コロナの影響は大きく、見つかるかが不安です。
内部障害	63 歳	テレワークが導入された。仕事などの相談を気軽に行える環境がなくなってしまった。
知的障害	35 歳	送迎車がなくなり、歩きになった。
知的障害	35 歳	JRに、あまり乗らなくて親の車で仕事に行くことが多くなった。
知的障害	37 歳	グループホームに行けなくなったり、会社に行けなくなったりした。

精神障害	36 歳	企業合同面接会の中止や縮小による就職活動の機会の減少。
精神障害	48 歳	就労継続支援B型に入所する前に通所していた就労移行支援での在籍が一年多く許されました。
精神障害	50 歳	コロナにより、ハローワークなどで求人が大幅に減り、就業継続支援A型事業所でしか働く場所が無い。